

### 第3章

## 観光振興プランの目標と具体的な取組



HINAMI-ikebukuro PARK

豊島区  
観光振興  
プラン

## 第3章 観光振興プランの目標と具体的な取組

### 1 目標

#### 多彩な文化で賑わう誰もがときめく都市としま

豊島区にある多彩な文化に、区民はもちろん来街者が期待やワクワク感を持てるよう、区と民間事業者で連携をして魅力の磨き上げを行います。これにより、区全体が「住みたい・訪れたい」人にやさしいまちになり、消費活動も促されることで、多様な人々が主役となって輝く持続可能な都市を実現します。これを計画期間（令和6（2024）～令和10（2028）年）における都市像として実現します。

### 2 基本方針

本プランでは、次の3つを計画期間におけるあるべき姿である基本方針として、各戦略及び施策を進めていきます。

#### （1）基本方針1：色とりどりのまちの輝きで人々を惹きつける観光の実現

豊島区には、欲しいもの食べたいものがすぐ手に入る池袋、「池袋モンパルナス」と称され、若い芸術家が切磋琢磨した千早・要町・千川、昭和レトロを感じるマンガのまち南長崎、歴史と文化が息づく雑司が谷・目白、都電とバラの街並みに「和」が溶け込んだ大塚、魅力的な商店街のある巣鴨、花とみどり豊かな駒込など、各地域が異なる魅力を持っています。これらがパッチワークのように組み合わせることで、様々な人々を惹きつける都市を実現します。

#### （2）基本方針2：「稼げる」地域経営の実現

豊島区の観光が持続的に発展するために、インバウンドに向けては受入環境の整備や、量より質を重視した付加価値の高い観光施策を実施し、国内旅行者に向けてはニーズに合った情報提供を行うことで、それぞれの滞在を促進し観光消費額を拡大します。また、民間事業者とも連携した効果的な観光施策を展開し、観光産業の経営力強化及び人材育成を行い、地域社会・経済に好循環をもたらす「稼げる」地域を実現します。

#### （3）基本方針3：区民が誇れる「住みたい・訪れたい」まちの実現

区民自身が住んでいる地域の魅力を理解し、まちを良くしていきたい、もっと知ってもらいたいという想いが、まちの魅力を高め、多くの人々を惹きつける好循環をもたらします。また、区民に寄り添った観光施策を展開することにより、区民と来街者双方がメリットを享受する「住みたい・訪れたい」まちを実現します。

## 豊島区観光振興プラン 2024-2028 目標及び方針・基本戦略

目標

多彩な文化で賑わう  
誰もがときめく都市としま

## 3つの基本方針

## 基本方針 1

色とりどりの  
まちの輝きで  
人々を惹きつける  
観光の実現

## 基本方針 2

「稼げる」  
地域経営の実現

## 基本方針 3

区民が誇れる  
「住みたい・  
訪れたい」  
まちの実現

## 5つの戦略

- 戦略 **1** 多様な文化資源の発掘と活用
- 戦略 **2** ウォークブル都市として  
人が主役のまちづくりの推進
- 戦略 **3** 対象者が求める情報発信の推進
- 戦略 **4** 産業と観光の融合による新たな価値の創造
- 戦略 **5** 交流都市との共生推進

### 3 施策の体系

豊島区の観光振興は、1つの目標及びそのあるべき姿としての3つの基本方針に基づき、5つの戦略と15の施策によって実行していきます。

戦略	施策	施策の方向性
<b>1</b> 多様な文化資源の発掘と活用	1 多彩な文化にあふれるとしまの魅力の磨き上げ	①としまオンリーワンブランドの磨き上げ ②文化芸術・伝統芸能の観光活用 ③祭り・地域イベントを活用した誘客促進
	2 国際文化都市としまのイメージ醸成	① Hareza 池袋をはじめとした舞台からの魅力発信 ②マンガ・アニメ・コスプレのまちのイメージ強化 ③音楽によるまちづくりの推進
	3 まちの魅力の掘り下げ強化	①地域住民目線による日常に根差したまちの魅力の発掘と活用 ②花とみどりによる地域の魅力増進 ③食の魅力の発信強化

戦略	施策	施策の方向性
<b>2</b> ウォークアブル都市として人が主役のまちづくりの推進	1 人が主役の場の創出	①人を惹きつけくつろぎを生み出す空間の創出 ②モノ消費から「代えがたい体験」の提供へ ③魅力的な地域資源を活かした回遊促進
	2 ユニバーサルツーリズムの推進	①多様な文化・習慣等への対応力強化 ②バリアフリーの推進 ③ユニバーサルデザインの促進
	3 環境に配慮した持続可能な観光の推進	①環境にやさしいイケバス等多様なモビリティの活用 ②環境にもまちにも優しいまち歩きの推奨 ③民間事業者と連携したSDGsの取組推進 ④地域や環境に配慮した観光消費の推奨
	4 地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進	①シビックプライドの醸成 ②地域における観光の担い手確保・育成 ③量よりも質を重視した高付加価値施策の展開 ④オーバーツーリズムへの対応
	5 安全・安心なまちづくりの推進	①区民及び来街者の安全・安心の確保 ②多様な来街者への災害発生時の対応強化



戦略 3	施策	施策の方向性
情報発信の推進 対象者が求める	1	ターゲットに合わせた効果的な情報発信の展開 ①旅マエ・旅ナカを意識した効果的な情報発信 ②国・都・大学等との連携による情報発信強化
	2	デジタル技術とデータの効果的な活用 ①デジタル技術の活用による旅行者の利便性向上の推進 ②データ分析による効果的・効率的な観光施策の展開

戦略 4	施策	施策の方向性
新たな価値の創造 産業と観光の融合による	1	産業と観光の融合による相乗効果の発揮 ①商店街振興と融合した観光施策の展開 ②区内銘品及び伝統工芸品の販路拡大・発信強化 ③民間事業者と連携した観光施策の展開
	2	観光産業の持続的な成長促進 ①観光産業の経営基盤強化 ②観光産業の担い手育成
	3	来街者の滞在及び消費促進 ①ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供 ②アフター・ザ・シアターの推進 ③おもてなし環境の整備強化

戦略 5	施策	施策の方向性
交流都市との共生推進	1	交流都市との連携による魅力増進 ①ゲートウェイシティとしての効果的な誘客促進 ②相互に恩恵を享受する交流事業推進
	2	交流都市への送客促進 ①交流都市の魅力発信による送客促進

## 4 施策の方向性及び概要

### 戦略 1

## 多様な文化資源の発掘と活用



### 施策 1 多彩な文化にあふれるとしまの魅力の磨き上げ

豊島区では、古くから様々な地域で多彩な文化が育まれてきました。豊島区のオリジナリティある文化資源を地域住民とともにさらに磨きをかけていくことにより、多くの来街者を惹きつけていきます。古くからある文化芸術・伝統芸能も新しい文化資源とともに、末永くその魅力を輝かせていく取組を展開していきます。

#### 施策の方向性

##### ①としまオンリーワンブランドの磨き上げ

としまオンリーワンブランドとして、ソメイヨシノ、トキワ荘を源流とするマンガ・アニメ文化、コスプレ、ふくろうのまち、池袋モンパルナスなど区内各地域に魅力的な文化資源が散りばめられています。地域住民とともにこれらをさらに磨き上げ、永遠の輝きを放つ、まちの人が誇れるブランドへと育てていきます。

##### ②文化芸術・伝統芸能の観光活用

豊島区には、池袋モンパルナスをはじめとする多種多様な文化の土壌があり、ほかにも長崎獅子舞をはじめ各地域において脈々と受け継がれている伝統芸能を観光資源として活用します。

##### ③祭り・地域イベントを活用した誘客促進

豊島区には、古くから地域に根付いている様々な祭りやイベントがあります。こういった魅力的な地域の祭りやイベントを通して、地域住民だけでなく、来街者にも心躍る空間を提供し、誘客促進につなげていきます。



染井よしの桜まつり



トキワ荘マンガミュージアム

## 施策2 国際文化都市としまのイメージ醸成

Hareza 池袋、池袋西口公園野外劇場、トキワ荘マンガミュージアムをはじめとした文化によるまちづくりの舞台が整いました。トキワ荘のマンガ文化が源流となり、今では、マンガ・アニメ・コスプレのまちとして多くの人が集まっています。こうした魅力的なコンテンツや音楽を活用したまちづくりのイメージを醸成し、国内外から多くの人々を呼び込みます。

### 施策の方向性

#### ① Hareza 池袋をはじめとした舞台からの魅力発信

8つの劇場を抱える Hareza 池袋、野外劇場を備える池袋西口公園（GLOBAL RING）をはじめとする4つの公園など様々な舞台の整備が終わり、これらを活用した文化によるまちづくりの魅力を発信し、人が主役の劇場都市を目指します。

#### ②マンガ・アニメ・コスプレのまちのイメージ強化

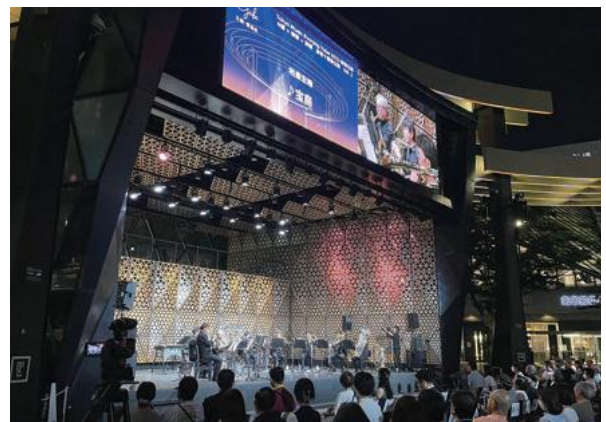
マンガの聖地であるトキワ荘マンガミュージアム、昭和レトロ館のある南長崎エリア、アニメ・コスプレ・同人誌に関するショップがひしめく乙女ロードのある池袋など、世界に誇れるマンガ・アニメ・コスプレ文化の中心地として国内外に魅力を発信し、まちのイメージとしてより一層の定着を図ります。

#### ③音楽によるまちづくりの推進

国際文化都市として、心地よいクラシック音楽が流れるまちづくりを GLOBAL RING を拠点に、区内全域で展開し、まちのイメージアップを図ります。他にも、ジャズやポップスなど様々な音楽がまちにあふれ、区民も来街者も楽しむことができる音楽のまちを目指します。



© 池袋ハロウィンコスプレフェス 2023



Tokyo Music Evening Yube



### 施策3 まちの魅力の掘り下げ強化

まちの中には、花やみどり、おしゃれなカフェ、かわいい雑貨店など日常に根差した魅力があふれています。そういった魅力を地域住民目線で発掘し、情報発信していくことにより、まちの魅力を区民や来街者に伝えていきます。

#### 施策の方向性

##### ①地域住民目線による日常に根差したまちの魅力の発掘と活用

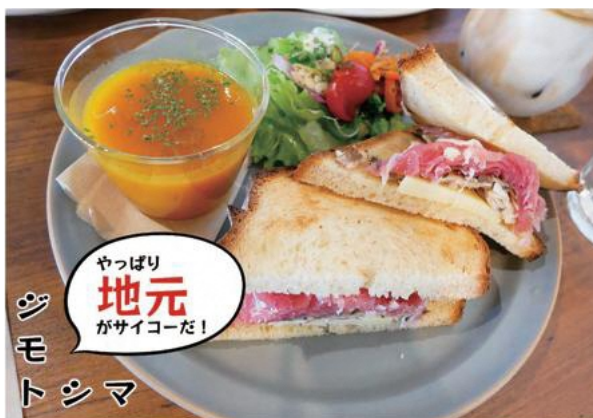
豊島区は、商店街や商業施設で欲しいものがすぐ手に入る便利さや、地域住民で賑わうおしゃれなお店もあり住みよいまちです。そんなまちの日常である「東京ローカル」の魅力を、地域住民である JIMO-TOshima（ジモトシマ）ライターとともに発掘し、国内外へ発信します。

##### ②花とみどりによる地域の魅力増進

各地域には、花にまつわる祭り（駒込桜まつり、大塚バラまつり、巣鴨中山道菊まつり）や都心でも感じられるみどり（学校、公共施設、寺社、霊園等）が存在します。民間施設を含めた身近なみどりを増やし、四季を感じるネットワークを図ることにより、区民はもとより来街者にも喜んでもらえる「みどりのネットワークを形成する環境のまち」を目指します。

##### ③食の魅力の発信強化

区内には、世界各国の料理を食べることのできるレストラン、多くのラーメン店、おしゃれなカフェ、かき氷店、居酒屋など個性豊かな飲食店であふれています。多様な食の魅力について、国内外への発信を強化します。



ジモトシマライターによる記事を掲載する JIMO-TOshima



大塚バラ祭り



## 戦略 2

ウォカブル都市として  
人が主役のまちづくりの推進

## 施策 1 人が主役の場の創出

ウォカブル都市として、人が主役となり、くつろぎを生む歩行者空間を創出します。商品を購入するだけでなく、その時にその場所だからこそ得られる「代えがたい体験」を、経験できるような場を提供していきます。

## 施策の方向性

## ①人を惹きつけくつろぎを生み出す空間の創出

社会実験による実績を踏まえながら、人が主役となる安全で快適な歩行者空間を確保し、マルシェやオープンカフェ、音楽イベント等を開催します。それにより、区民も来街者も豊島区で過ごす誰もがくつろげる空間を創出します。

## ②モノ消費から「代えがたい体験」の提供へ

商品の購入だけでなく、和装やお茶席といった日本文化体験やその時にその場でしか経験できない特別な体験となるようなプログラム、体験型ツアーの造成を民間事業者主体で行います。

## ③魅力的な地域資源を活かした回遊促進

区内各地域に点在する観光スポットをIKEBUSで回遊し、その魅力を深掘りして伝えるツアーを継続して実施するほか、駒込と六義園の桜のように区境を越えたエリアの回遊を促進します。

## ～ ウォカブル都市 ～

ウォカブルとは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語です。文字通り、「歩きやすい」「歩きたくなる」といった意味を持っています。「人」中心の都市へシフトするための言葉として、世界中で注目されています。豊島区では、「人」が主役のまちづくりを基本理念として、「ウォカブル都市」を目指します。

出典：豊島区「いけぶくろウォカブル  
CONCEPT BOOK」



IKEBUS

## 施策2 ユニバーサルツーリズムの推進

豊島区を訪れた誰もが快適に過ごせるまちづくりを進めるために、ハード・ソフト両面での検討が必要となります。また、関係団体及び民間事業者が情報を共有しながら、一体的に取り組んでいくことによって、誰もが心地よく過ごせる環境づくりをまち全体で実現します。

### 施策の方向性

#### ①多様な文化・習慣等への対応力強化

豊島区には日本人だけでなく、多くの外国人が住み、訪れています。それぞれが持つ多様な文化や習慣を尊重し合いながら心地よく過ごすためには、まちを訪れる側と迎え入れる側双方がそれぞれの習慣へ配慮する必要があります。ムスリムやベジタリアン、ヴィーガン等への配慮についての理解を促進するとともに、来街者にも日本独特の文化やルールについて周知していきます。

#### ②バリアフリーの推進

障害者や高齢者、ベビーカーの利用者等、誰もが安心して街なかを回遊できるよう、バリアフリー化を促進するとともに、バリアフリーマップ等を通じて、バリアフリー情報を提供します。また、外国人を含む街なかで不便を感じている方を気遣い、協力して手助けができるように、心のバリアフリーへの取組を推進します。

#### ③ユニバーサルデザインの促進

年齢や性別、国籍を問わずすべての人が利用しやすいまちとなるよう、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、まちづくりを推進します。観光分野では、民間事業者と連携し、情報ツールの整備及び多言語対応や、統一した案内サインの整備等を行います。

### ～ ユニバーサルツーリズム とユニバーサルデザイン～

ユニバーサルツーリズムとは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指しています。

また、ユニバーサルデザインとは、あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のことです。

本プランでは、誰もが快適に過ごすことができるよう、具体的な施策を検討します。

(参考) 観光庁ホームページ・総務省ホームページ



### 施策3 環境に配慮した持続可能な観光の推進

SDGs 未来都市を実現するため、持続可能な観光地域経営を実現します。脱炭素を踏まえたモビリティを積極的に活用し、環境に優しく、地域経済を活性化させるまち歩きを推奨します。また、民間事業者による取組を推進し、観光消費の側面からも持続可能性への配慮を促します。

#### 施策の方向性

##### ①環境にやさしいイケバス等多様なモビリティの活用

真っ赤な IKEBUS は、池袋駅周辺の4つの公園や賑わい施設を回遊する電気バスです。グリーンスローモビリティの活用により脱炭素を目指しながら、環境に配慮した観光体験を提供します。

##### ②環境にもまちにも優しいまち歩きの推奨

豊島区は「人」が主役のまちづくりで、もっと歩きたくなるまち、ウォーカブルなまちを目指しています。まち歩きマップの作成、くつろぎ空間や散策スポットを紹介することで、地域環境に優しいだけでなく、街なかの消費行動を誘引し、地域経済を活性化させます。

##### ③民間事業者と連携した SDGs の取組推進

チームとしまをはじめとした民間事業者と連携し、区が進める SDGs の取組をまち全体へと広げていくことで、民間事業者による取組を後押しし、持続可能な観光地域づくりを行います。

##### ④地域や環境に配慮した観光消費の推奨

SDGs の目標の一つである「つくる責任、つかう責任」を推進する観点から、民間事業者に対し人・社会・地域・環境に配慮した行動を促すことで、観光消費の面においても持続可能なまちづくりに取組みます。

#### ～ チームとしま ～

区制90周年を契機に、民間企業を含め業種や業態を超えた「チームとしま」が発足しました。誇りや愛着を抱く「まちづくり」を目指し、業種を越えた、官民で「考えて」「動く」新たな企業連携プラットフォームです。

(参考) 豊島区ホームページ

## 施策4 地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進

生活者である地域住民が地域の魅力を理解し、地域を誇りに思い、自ら地域活性化に貢献する心意気を育てていくことにより、来街者へのおもてなしを強化し、地域住民及び来街者がともに快適に過ごすことができる観光地域経営を推進します。

### 施策の方向性

#### ①シビックプライドの醸成

各地域の魅力を地域住民自らが理解し、「住みたいまち」として誇りに思うことによって、地域の魅力を自ら発信し、来街者をおもてなしする心意気生まれ、それが新たな来街者を「訪れたいまち」として呼び込む好循環を作ります。

#### ②地域における観光の担い手確保・育成

まちをよく知る各地域の案内人の活用や、外国語観光ボランティアガイドなどの養成を豊島区観光協会と連携して行い、おもてなしの実践の場を提供していきます。また、地域住民や民間事業者が自分たちのまちを自分たちできれいにする美化活動を行い、おもてなしのマインドアップを図ります。

#### ③量よりも質を重視した高付加価値施策の展開

地域住民と来街者との間に生じる問題を最小限にし、来街者数だけでなく一人当たりの観光消費額を拡大する「稼げる地域」を実現するため、ターゲットを意識し、量よりも質を重視した効果的な観光施策を展開します。

#### ④オーバーツーリズムへの対応

来街者の増加による混雑やマナー違反などにより、まちで暮らす人々の生活に支障をきたさないよう、地域住民と来街者が通る道を棲み分けする雑司が谷案内サイン整備の取組やルール周知等、地域住民・生活者に配慮した観光施策を行います。

### ～ オーバーツーリズム ～

観光客が集中する一部の地域や時間帯等によっては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度低下への懸念が生じています。

観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続可能な観光地域づくりを実現するためには、地域自身があるべき姿を描いて、地域の実情に応じた具体策を講じることが有効です。

(出典) 観光庁ホームページより抜粋

## 施策5 安全・安心なまちづくりの推進

鉄道各線のターミナルとなっている池袋をはじめとして、区内各地域には、区民だけでなく多くの来街者が訪れています。来街者も含めた誰もがこのまちで快適に楽しんでいただくためには、安全・安心の確保が不可欠です。通常時はもちろんのこと、災害時など万一の際にもしっかりと対応できる体制づくりを民間事業者等とともに推進していきます。

### 施策の方向性

#### ①区民及び来街者の安全・安心の確保

特に多くの人が集まる池袋において、区民及び来街者が安心して過ごせるよう、警察・消防や民間事業者、地域住民等と連携し、安全・安心なまちづくりのための取組を推進します。また、池袋駅周辺混乱防止対策協議会等を通じて、災害の発生に対処するためのルール及びマニュアル等の整備や情報を共有できる仕組みを構築します。

#### ②多様な来街者への災害発生時の対応強化

まちに不慣れな来街者が、地震等の災害に遭遇したときでも慌てずに行動できるよう、デジタルを活用し、公共交通機関の運行状況や一時滞在施設の開設状況などの必要な情報を的確に伝える体制を構築します。また、それらの情報を多言語で発信するなど、外国人旅行者にも配慮した仕組みを検討していきます。

### ～ 来街者に対する災害対策 ～

豊島区では来街者に対して、防災情報を伝えるために街なかに設置している観光案内標識の凡例部分に、区ホームページの防災情報にリンクできる2次元コードを表示しています。

また、観光パンフレットにも防災情報を取得できるように案内を掲載するなど、豊島区を訪れた方が安心して過ごせるよう環境を整備しています。



(出典) 豊島区「豊島区案内サインガイドライン」

### 戦略 3

## 対象者が求める情報発信の推進



### 施策 1 ターゲットに合わせた効果的な情報発信の展開

旅マエ、旅ナカを意識しながら、区内各地域の特色及び魅力をターゲットに合わせて効果的に情報発信します。外国人旅行者向けでは、エンターテイメントにあふれ、欲しい物が何でも手に入る東京の日常を象徴するまち池袋を「Tokyo Local Ikebukuro」として紹介します。また、国・都・大学等とも連携をしながら、ターゲットへ届く情報発信を展開します。

#### 施策の方向性

##### ①旅マエ・旅ナカを意識した効果的な情報発信

来街者の国籍や性別、年代によって興味を引くまちの魅力が異なることから、それぞれのターゲットに合わせたコンテンツを選別して発信します。発信にあたっては、多言語対応を含むマップ作成のほか、動画制作、WEBやSNSの活用、観光案内所の公民連携や活用強化を行います。

##### ②国・都・大学等との連携による情報発信強化

区内にある公民の観光案内所の連携とともに、国や都、近隣区の観光所管部署と連携し、空港や観光案内所といった区内外での情報発信を積極的に行います。特にアニメにおいては、都が整備した新たな拠点「アニメ東京ステーション」との連携により、マンガ・アニメの聖地としての情報発信を強化します。また、区内大学との連携により、学生の視点を取り入れた情報発信を行います。



多言語観光ガイドマップ



としま区民センターインフォメーション

## 施策2 デジタル技術とデータの効果的な活用

ARやVRの活用その他、スマートフォン等から直接情報を入手できる仕組みを積極的に導入し、旅行者の利便性向上に努めていきます。また、オープンデータの分析によりマーケティングの観点から効果的・効率的な観光施策の展開を図っていきます。

### 施策の方向性

#### ① デジタル技術の活用による旅行者の利便性向上の推進

デジタルマップやWEB、観光案内所に設置されている多言語対応の端末やデジタルサイネージを活用した情報発信のほか、観光スポットでのARやVRの導入・活用、メタバースのような仮想空間での新しい体験・交流の場の提供により、旅行者の利便性向上を図り、現実世界にはない新たな価値を創造します。

#### ② データ分析による効果的・効率的な観光施策の展開

オープンデータ等を活用し、国や都、区のレベルでそれぞれどのような傾向があるのかを分析し、デジタルマーケティングを行うことで、エビデンスに基づく効果的な旅行者の誘致を行います。



としま区民センター デジタルサイネージ



池袋西公園野外劇場（GLOBAL RING THEATRE）  
デジタルサイネージ



トキワ荘マンガミュージアム  
公式ホームページから閲覧可能なVR

## 戦略 4

# 産業と観光の融合による新たな価値の創造



## 施策 1 産業と観光の融合による相乗効果の発揮

区内には、地域性豊かな魅力ある商店街があり、交流都市や観光施策との連携により誘客を促進します。また、ふるさと納税の活用及び民間事業者との連携による異業種コラボレーションにより区内銘品及び伝統工芸品等魅力的な商品の販路拡大を図っていきます。

### 施策の方向性

#### ①商店街振興と融合した観光施策の展開

豊島区には、特色のある商店街が点在し、地域毎に商人まつりを開催しています。商店街を観光名所のひとつとして、そこでしか買えない銘品をPRし、来街者を呼び込む取組を進めています。トキワ荘商店街や巣鴨地蔵通り商店街などのように、来街者を惹きつける魅力を効果的にPRすることによって、観光振興と商店街振興の連携も図っていきます。

#### ②区内銘品及び伝統工芸品の販路拡大・発信強化

豊島区内の銘品や伝統工芸品、伝統芸能の体験型コンテンツをイケ・サンパークで行われているファーマーズマーケットやふるさと納税の返礼品など、区が有する販路を活用し、広くPRします。これにより、豊島区のファンを増やし、消費額の拡大へつなげていきます。

#### ③民間事業者と連携した観光施策の展開

宿泊事業者や百貨店、家電量販店等で構成する池袋インバウンド推進協力会と協力して、インバウンド需要に向けた施策展開を検討し、旅ナカの外国人旅行者に区内の魅力的なコンテンツを少しでも多く知っていただき、滞在促進及び消費額拡大につながる情報発信を行っていきます。



伝統工芸展



巣鴨地蔵通り商店街



## 施策2 観光産業の持続的な成長促進

持続可能な観光地域づくりを推進していくに際し、旅行業、宿泊業、飲食業といった観光産業の高付加価値化を図り、来街者をおもてなしする観光産業の経営基盤強化が不可欠となっています。民間事業者とも連携を図りながら、次世代を担う観光産業の担い手を育成していきます。

### 施策の方向性

#### ①観光産業の経営基盤強化

区内の魅力ある各地域に今後も多くの来街者を惹きつけていくには、おもてなしをする観光産業の持続的な発展が必要不可欠です。としまビジネスサポートセンターと連携した販路・売上拡大セミナーや相談事業等の実施により、観光産業の経営力強化を支援していきます。

#### ②観光産業の担い手育成

観光産業が持続的に発展していくためには、次世代を担う若手を育成していく必要があります。民間事業者と協力して、働き手のおもてなしへの動機づけを行っていくことで、観光産業の高付加価値化を図り、働き手にとっても魅力ある仕事となるよう支援していきます。また、関連部署、関係団体と連携し、IKEBUS アトカルツアーや就業体験などを通して、次世代を担う子どもたちに区内観光産業に触れる機会を提供します。

### ～ 観光産業の高付加価値化 ～

観光庁では、特に、宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン・登録制度を創設し、今後、登録事業者を補助事業等で積極的に支援することで、生産性・収益力の向上、従業員の待遇改善を推進し、滞在価値向上による消費額増加・再訪促進の実現、「持続可能な稼げる産業」への変革を目指しています。

ここでは、宿泊業だけでなく旅行業や飲食業等の観光産業全般における高付加価値化を意図しています。

(出典) 観光庁ホームページより抜粋

### 施策3 来街者の滞在及び消費促進

交通利便性の高い池袋は、宿泊地として選ばれています。外国人を含む来街者がより快適に過ごしていただけるような環境整備を強化することによって、区内での滞在時間を延ばし、観光消費額の拡大を図っていきます。

#### 施策の方向性

##### ①ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供

豊島区の中でも特に池袋は利便性も良く、多様な人が訪れます。それぞれが快適に過ごすことができ、滞在に満足していただけるよう、民間事業者と連携をしてサービスの高付加価値化及び多様な形態の宿泊施設を選択できるようにします。また、来街者への周辺観光情報の提供を宿泊事業者に要請し、区への滞在促進、消費額拡大を図ります。

##### ②アフター・ザ・シアターの推進

豊島区には、多くの映画館・劇場があります。観劇やショッピングの後、その余韻に浸りながら飲食などを楽しんでいただくため、ナイトライフ観光等に関するコンテンツの充実を民間事業者に促し、来街者の滞在促進、消費額拡大、地域経済の活性化を図るための情報発信を強化します。

##### ③おもてなし環境の整備強化

外国人を含む来街者が、快適に過ごすことのできる環境の整備を促します。キャッシュレス対応の強化や観光案内機能の充実により、利便性向上と消費額の拡大を目指します。



ナイトライフコンテンツを充実した  
タイムアウト東京のガイドマップ英語版発行



観光案内機能を備えた GLOBAL RING CAFE

## 戦略5

## 交流都市との共生推進



## 施策1 交流都市との連携による魅力増進

豊島区は、秩父市、遊佐町、箕輪町をはじめ多くの都市と交流を行っています。また、池袋はターミナル駅として多くの路線が乗り入れています。大消費地である豊島区と自然豊かな交流都市とが相互に利益を享受できる事業を推進します。

## 施策の方向性

## ①ゲートウェイシティとしての効果的な誘客促進

豊島区には、池袋起点の西武池袋線、東武東上線や高速バス、路線バス等があり、多くの来街者が集まります。この交通ネットワークを活かした誘客により、区内への滞在を促します。

## ②相互に恩恵を享受する交流事業推進

イケ・サンパークで行われているファーマーズマーケットをはじめ、自然豊かな交流都市の銘品を大消費地である豊島区で販売したり、交流都市の森を活用してカーボン・オフセット事業を行ったり、豊島区と交流都市が相互に利益を享受できる事業を推進します。



イケ・サンパーク ファーマーズマーケット



豊島区・秩父市姉妹都市提携40周年記念事業



東武東上線沿線サミット



西武線沿線サミット

## 施策2 交流都市への送客促進

豊島区と交流都市との相互発展の観点から、豊島区への誘客だけでなく、豊島区において交流都市の魅力をPRすることにより、区民が交流都市を訪れる機会を増やします。

### 施策の方向性

#### ①交流都市の魅力発信による送客促進

イケ・サンパークで行われているファーマーズマーケットでは、交流都市が地域を代表する銘品を販売することでPRを行い、区民に交流都市の魅力を伝えています。豊島区にはない交流都市の魅力を豊島区で発信することにより、区民が訪れるきっかけとなり、交流都市の賑わい創出へ寄与します。



丸太切り体験（秩父市）



交流事業での林業体験（箕輪町）